

「特別支援学校高等部（専攻科）における進路指導・職業教育支援  
プログラムの開発」にかかるアンケート調査

《調査票ご記入にあたってのお願い》

以下の事項についてご留意いただき、ご記入をお願いいたします。

●アンケートの対象者について

回答にあたっては、貴校の進路指導・職業教育担当者にご記入をお願いいたします。

●記入方法について

在籍生徒数については、平成22年12月現在のものをご記入ください。もし、必要と思われる資料等がございましたら、ご面倒でも1部コピーし、ご同封ください。

●ご回答いただいた情報の取扱と結果の公表について

結果の公表にあたっては、学校名や個人が特定できないように統計的な処理を行います。

また、調査結果につきましては、集計終了次第、各学校長宛にご送付いたします。詳細な分析結果につきましては、別途、あらためましてご報告いたします。

●締め切り

同封の封筒にて、平成23年1月15日（土）までにご返送いただきますようお願いいたします。

以上、ご協力のほど、よろしくをお願いいたします。

【問い合わせ先】

独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所

〒239-8585 神奈川県横須賀市野比5-1-1

教育支援部総括研究員 原田 公人（研究代表）

TEL:046-839-6847（直通）

E-mail:harada@nise.go.jp

企画部研究員 柳澤 亜希子（研究副代表）

TEL:046-839-6876（直通）

貴校の学校名と調査票に回答された方のお名前と職名、所属分掌部名をご記入ください。

学校名	都道府県立・市立・私立		
記入者氏名			
職名		所属分掌部	

## I. 高等部（高等部専攻科）に在籍している生徒についてお尋ねします。

1-1. 高等部に在籍する生徒の内訳をご記入ください。

※高等部本科に普通科と専攻科がある場合は、それぞれの在籍数を記入してください。

	高等部（本科）1年	高等部（本科）2年	高等部（本科）3年
在籍生徒数（名）			

1-2. 高等部専攻科在籍の生徒の内訳をご記入ください。

※【科】に設置されている学科名をご記入ください。

	【科】	【科】	【科】	【科】
在籍生徒数（名）				

1-3. 高等部に在籍する重複障害のある生徒の内訳をご記入ください。

	高等部（本科）1年	高等部（本科）2年	高等部（本科）3年
在籍生徒数（名）			

1-4. 高等部及び高等部専攻科に在籍する生徒で、発達障害のある生徒等、気になる生徒が在籍していますか（複数回答可）。あわせて在籍する人数もご記入ください。

- ( ) (1) 発達障害がある生徒が在籍している ( 名)
- ( ) (2) 障害者手帳等の手帳を保有していない生徒が在籍している ( 名)
- ( ) (3) 長期欠席の生徒が在籍している ( 名)
- ( ) (4) その他 ( 名、 名、 名)

## II. 進路指導・職業教育の主担当者（進路指導主事、分掌部長、職業科主任等）の「特別支援教育の経験年数」と「担当された障害種」、「現在の担当業務」をご回答ください（該当する項目に○をしてください）。

※1：進路指導担当と職業教育担当を兼務されている方は、「進路指導主担当」の欄のみご記入ください。

※2：本調査では、「職業教育担当者」とは、「保健医療」「理容」等の専門教科・科目や「農業」「工業」等の各教科や作業学習等の授業を担当されている指導者を指します。

	進路指導主担当者	職業教育主担当者
2-1. 特別支援教育の 経験年数	( ) (1) 5年未満 ( ) (2) 5年以上10年未満 ( ) (3) 10年以上15年未満 ( ) (4) 15年以上	( ) (1) 5年未満 ( ) (2) 5年以上10年未満 ( ) (3) 10年以上15年未満 ( ) (4) 15年以上
2-2. 進路指導・職業 教育の経験年数	( ) (1) 5年未満 ( ) (2) 5年以上10年未満 ( ) (3) 10年以上15年未満 ( ) (4) 15年以上	( ) (1) 5年未満 ( ) (2) 5年以上10年未満 ( ) (3) 10年以上15年未満 ( ) (4) 15年以上
2-3. 現在の担当業務 (複数回答可)	( ) (1) 学級担任 ( ) (2) 教科担任 ( ) (3) 特別支援教育コーディネーター ( ) (4) その他 ( ) ( )	( ) (1) 学級担任 ( ) (2) 教科担任 ( ) (3) 特別支援教育コーディネーター ( ) (4) その他 ( ) ( )

### Ⅲ. 貴校の進路指導についてお尋ねします（該当する項目に○をしてください）。

3-1. 高等部所属の教員数及び高等部所属の進路指導担当の教員数をご記入ください。

高等部所属の教員数\_\_\_\_\_名 うち 進路指導担当教員数\_\_\_\_\_名

※複数障害種の学校で部門別に進路指導の教員を配置している場合は、以下にご記入ください。

部門	人数(名)

3-2. 教育課程についてお尋ねします。

3-2-1. 進路指導の全体計画がありますか。

( ) (1) ある

( ) (2) ない

3-2-2. 3-2-1で「(1) ある」を選択された場合、全体計画を作成する際に留意していることについてご記述ください。

例：一貫性、学年ごとのねらい等

3-2-3. 3-2-1で「(2) ない」を選択された場合、その理由をご記述ください。

3-3. 進路指導の内容についてお尋ねします。

3-3-1. 進路指導を主として実施している各教科・領域等についてご回答ください(複数回答可)。

- ( ) (1) 各教科(教科名: \_\_\_\_\_)
- ( ) (2) 道徳
- ( ) (3) 特別活動
- ( ) (4) 総合的な学習の時間
- ( ) (5) 自立活動
- ( ) (6) 領域・教科を合わせた指導(名称: \_\_\_\_\_)
- ( ) (7) その他( \_\_\_\_\_)

3-3-2. 進路指導で取り扱っている内容を具体的にご記述ください。

例: 進路講話、マナー講習等

3-4. 重複障害のある生徒に対する進路指導に関する教育課程の編成に際して、どのようなことを配慮していますか。

3-5. 進路指導を進めていくうえで、特に課題と考えている事項を2つ選択してください。

- ( ) (1) 指導内容の選定・評価
- ( ) (2) 指導内容の系統性
- ( ) (3) 教材の選定
- ( ) (4) 指導時間の確保
- ( ) (5) 指導の評価
- ( ) (6) 個別の移行支援計画(個別の教育支援計画)の活用
- ( ) (7) 重複障害のある生徒への指導
- ( ) (8) その他( \_\_\_\_\_)

#### IV. 貴校の職業教育についてお尋ねします(該当する項目に○をしてください)。

※本調査では、「職業教育担当者」とは、「保健医療」「理容」等の専門教科・科目や「農業」「工業」等の各教科や作業学習等の授業を担当されている指導者を指します。

4-1. 職業教育担当の教員数(総数)をご記入ください。

\_\_\_\_\_人 (うち非常勤講師 \_\_\_\_\_人)

4-2-1. 設置されている職業科の種類をご回答ください。

例：流通サービス科、ライフサポート科等
---------------------

4-2-2. 各科では、どのような資格の取得をめざしていますか。

各科	めざしている資格
(例：情報コミュニケーション科)	(例：パソコン検定)

4-3. 教育課程についてお尋ねします。

4-3-1. どのような学校設定科目及び学校設定教科を設定していますか。専攻科がある場合は、本科と分けて記入してください。

※記入欄内を超える場合は、別途、資料を添付してください。

学校設定科目	
学校設定教科	
( ) 設定していない	

4-3-2. (職業科としての設置ではなく) コースを設けている場合は、その種類をご記述ください。

例：紙工、園芸等
----------

4-4. 現場実習(産業現場等における実習)の実施上、学校として重視していることを具体的にご記述ください。

--

4－5．職業教育を進めていくうえで、特に課題と考えられる事項を2つ選択してください。

- ( ) (1) 専門性の維持
- ( ) (2) 個々の障害のある生徒の実態に応じた指導
- ( ) (3) 指導の系統性
- ( ) (4) 指導内容の評価
- ( ) (5) 学校での職業教育の指導と現場実習（産業現場等における実習）との関連性
- ( ) (6) 就労体験（インターンシップ）と卒後の就労との関連性
- ( ) (7) 重複障害のある生徒への対応
- ( ) (8) 途中の学科変更や進路変更の要望への対応
- ( ) (9) その他 ( )

**V. 進路指導・職業教育に関わる校内連携についてお尋ねします。（該当する項目に○をしてください）。**

5－1．進路指導・職業教育の担当分掌が主催する会議についてお尋ねします。この会議において検討する内容として、重点的に検討されていることを2つ選択してください。

- ( ) (1) 生徒の進路選択
- ( ) (2) 生徒についての情報共有
- ( ) (3) 保護者対応の明確化
- ( ) (4) 関連諸機関についての情報共有
- ( ) (5) 指導方針の明確化
- ( ) (6) 担当者の役割の明確化
- ( ) (7) その他 ( )

5－2．進路指導・職業教育担当者が校内連携を進めるうえで、重要と考える部署等を以下より2つ選択してください。

- ( ) (1) 担任との連携
- ( ) (2) 学部内の連携
- ( ) (3) 学部との連携
- ( ) (4) 各科（専攻科・普通科・職業科）との連携
- ( ) (5) 特別支援教育コーディネーターとの連携
- ( ) (6) 寄宿舍職員との連携
- ( ) (7) 他部門との連携（併置の場合）
- ( ) (8) その他

5－3．進路指導・職業教育に関わる校内連携を円滑にするために工夫していることを具体的にご記述ください。

例：会議内容の精選、日常的な情報発信等

**VI. 進路指導・職業教育に関わる外部関係諸機関との連携についてお尋ねします。**

6-1. 連携している外部の関係諸機関と連携の内容についてお尋ねします。

6-1-1. 連携している機関として該当するものに○をご記入ください。また、それぞれの機関との連携の内容を下欄から選択し、その番号をご記入ください。

回答例：(○) ハローワーク (該当する番号：①、③)

- ( ) 企業等事業所 ( )
- ( ) 施設 ( )
- ( ) 作業所 ( )
- ( ) ハローワーク ( )
- ( ) 障害者就業・生活支援センター ( )
- ( ) 障害者職業センター ( )
- ( ) 特別支援学校 ( )
- ( ) 小・中学校 ( )
- ( ) 高等学校 ( )
- ( ) 大学・専門学校 ( )
- ( ) その他 ( )

**【連携内容】**

- ① 職場開拓への協力 ② 産業現場等における実習等の受け入れ ③ 研修会への協力・講師派遣
- ④ ケース会議への参加 ⑤ 作業製品の購入及び提供 ⑥ 外部講師としての指導や授業等への参加
- ⑦ 進路指導・職業教育に関する助言等 ⑧ 情報保障（手話通訳、要約筆記等）のサポート ⑨ 学習支援
- ⑩ その他

6-1-2. 今後も連携を強めていく必要があると考えている主な関係機関を挙げ、その連携内容を記述してください。

関係機関	連携内容
(例：企業)	(例：職場実習先の確保)

6-2. 外部関係諸機関との進路及び就労支援の検討を目的とした会議についてお尋ねします。

6-2-1. 貴校では、外部関係諸機関との会議を実施していますか。

- ( ) (1) 実施している
- ( ) (2) 実施していない

6-2-2. 6-2-1で「(1) 実施している」と回答した場合、その主な内容を具体的に記述してください。

例：指導記録に基づいた検証、個々の生徒の事例についての検討等

6-2-3. 6-2-1で「(2) 実施していない」と回答した場合、その理由を記述してください。

6-2-4. 貴校では、関係機関との定例会議や研修会等を実施していますか。

( ) (1) 行っている

( ) (2) 行っていない

6-2-5. 6-2-4で「(1) 行っている」と回答した場合は主な連携先を挙げ、その主な内容を具体的に記述ください。

連携先	内容
(例：企業等)	(例：事業主による障害者の職場適応に関する講演会等)

6-2-6. 関係諸機関との連携において、特に課題となっていることを具体的に記述ください。

6-3. 地域での就労を支援する組織（就労支援連絡会等）についてお尋ねします。

※この質問は、生徒が在学中の支援としてお尋ねします。

6-3-1. 地域での就労を支援する組織がありますか。

( ) (1) ある

( ) (2) ない



6-3-2. 6-3-1で「(1) ある」と回答した場合、その組織と具体的な支援内容をご記述ください。

組織名 (例：就労支援連絡会)	支援内容 (例：学習会等の生涯学習支援)

6-4. 個別の移行支援計画（もしくは個別の教育支援計画）についてお尋ねします。

6-4-1. 個別の移行支援計画（もしくは個別の教育支援計画）を作成していますか。

- ( ) (1) 作成している  
( ) (2) 作成していない

6-4-2. 6-4-1で「(1) 作成している」と回答した場合、以下の該当する番号に○をしてください。

- ( ) (1) 個別の移行支援計画は、個別の教育支援計画に含めている  
( ) (2) 個別の移行支援計画と個別の教育支援計画は、別々に作成している  
( ) (3) その他 ( )

6-4-3. 個別の移行支援計画（もしくは個別の教育支援計画）の個人情報の取り扱いについて、どのような配慮をしていますか。

例：公開する対象に制限があり、一部に公開している等

## VII. 就労に関わる卒業後の支援についてお尋ねします。

7-1. 卒業生に対して卒業後の支援を行っていますか。

- ( ) (1) 行っている  
( ) (2) 行っていない

7-2. 7-1で「(1) 行っている」を選択した場合、卒業後の支援のための校務分掌を設置していますか。「設置している」場合は、分掌名を記入してください。

- ( ) (1) 設置している (分掌名： )  
( ) (2) 設置していない

7-3. 7-2で「(1) 設置している」を選択された方にお尋ねします。

7-3-1. 支援の期間をご記述ください。

例：卒後3年間等

7-3-2. 支援の目的をご記述ください。

例：就労の定着・本人の望む職場開拓等

7-3-3. 支援の具体的な活動例をご記述ください。

例：家庭訪問、卒業生の集い等

7-4. 7-2で「(2) 設置していない」と選択した場合、その理由を具体的に記述してください。

例：重要であると考えているが、体制がとれない等

7-5. 学校として卒業生の就労先（進路先）への定着に関する調査を行っていますか。

( ) (1) 行っている

( ) (2) 行っていない

7-6. 7-6で「(1) 行っている」を選択した場合、具体的な内容をご記述ください。

例：年度ごとに就労先（進路先）に定着の様子を問い合わせている等

7-7. 卒業後の支援として課題となっている事項を記述してください。

例：定着支援、職場開拓等

## **Ⅷ. 進路指導・職業教育に関わって、障害のある生徒の保護者（家族）への支援についてお尋ねします（該当するものに○をしてください）。**

※ここでの「保護者（家族）」とは、障害のある生徒の両親や障害のある生徒の配偶者とします。

8-1. 進路指導・職業教育の全体計画に保護者（家族）支援のための内容が含まれていますか。

( ) (1) 含まれている

( ) (2) 含まれていない

8-2. 8-1で「(1) 含まれている」と回答した場合、各学年・専攻科における内容を具体的に  
ご記述ください。

※各学年での記入が難しい場合は、あわせてご記述ください。

学 年	具体的な内容
1 学年	
2 学年	
3 学年	
専攻科	

8-3. 卒業生の保護者（家族）に対する支援についてお尋ねします。

8-3-1. 保護者（家族）に対する卒業後の支援のための窓口がありますか。「(1) 窓口がある」  
場合、分掌部として位置づけられている場合は、その名称をあわせてご記述ください。

( ) (1) 窓口がある（分掌名： ）

( ) (2) 窓口がない

8-3-2. 8-3-1で「(1) 窓口がある」を選択した場合、誰が、どのような内容を取り扱って  
いますか。

例：前学級担任が、生徒の転職に関わる問題について相談を受けている

8-3-3. 8-3-1で「(2) 窓口がない」を選択した場合、その理由をご記述ください。

例：必要だと思うが、当時の担任（担当者）がいないために相談を受けられない等

8-4. 保護者（家族）支援を行うにあたり、困難を生じている事例があればご記述ください。

例：未就労の保護者への対応、精神疾患のある保護者への対応等

8-5. 障害のある生徒の保護者（家族）への支援を行ううえで、特に課題となっている事項を3つ選択してください。

- (1) 保護者（家族）と担当者との話し合い（懇談）の時間の確保
- (2) 保護者（家族）の進路懇談会や進路説明会、見学等への積極的な参加
- (3) 障害のある生徒本人の希望と保護者（家族）の希望の調整
- (4) 障害のある生徒の進路先に対する保護者間での意思疎通
- (5) 個別の移行支援計画（個別の教育支援計画）作成への保護者の参画
- (6) 保護者（家族）との小学部（校）段階から高等部段階までの継続性をもった取組
- (7) 校内で対応が困難な場合の外部専門家との連携
- (8) 障害のある生徒本人及び保護者（家族）が暮らしている地域情報の収集と提供
- (9) 卒業後を見通した保護者（家族）同士のネットワークの構築
- (10) その他（）

以上で終わります。ご協力ありがとうございました。